

令和2年 **11**月の**優しさ**通信



「買い物弱者」ネットでも

高齢者の誤注文 など 相談、9年で15倍

* 高齢者のネット通販トラブルが広がっています。

国民生活センターの相談データで、60歳以上は2019年度に約2万5800件と、2010年度の15倍に。59歳以下は98200件で伸びは5.7倍。

* 高齢者にとってトラブルが起きやすい要因

- ① ネット操作に不慣れな高齢者が相対的に多いこと。
- ② 確認表示や注意書きが小さく、気づきにくいこと。
- ③ 認知機能の低下。



* 健康食品は高齢者の相談が急増。

* ネットサービスは視聴内容や時間、課金の制限など、主に未成年を対象に弱者を守る技術を磨いてきました。

高齢者向けの仕組みは発展途上。

* ネット大手であれば、購買パターンから過剰購入の兆候を検知し、家族などにきめ細かく注意喚起する技術は可能です。

(2020年10月17日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



今月の福祉用具－衣服の管理 家庭洗濯 柔軟剤

* 繊維の風合いをソフトにするためのもの、静電気によるまつわりつきをなくす作用があります。

* 皮膚アレルギーを起こす人もあります。

* 洗剤は陰イオンの働き、柔軟剤は陽イオンの働きで作用するので、同時に使用すると効果が無くなります。

* すすぎの最後の水に使用します。

* 柔軟剤を使用しない場合、衣服をソフトにしたいときは代わりに、衣類のすすぎの際に①酢を50ccくらい使用②乾いてからアイロンがけ③手でもみほぐす、などによっても柔軟効果が得られます。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより)